

大人の発達障害

株式会社ドクタートラスト





1. 発達障害（神経発達障害）とは

2. 職場での関わり

3. まとめ

発達障害とは

発達障害は**脳**の個性

生まれつき、またはごく早期から
もっている脳の「特徴」



発達障害の種類

多くの場合、**様々な要素が複合的に**現れます

**自閉
スペクトラム症
ASD**

**極限性学習症
LD**

**注意欠如・多動症
ADHD**

「大人の発達障害」とは

大人の発達障害

≠

大人になって発症する

- ◆ そもそも「病気」ではないため、大人になって突然「発症」するものではない
- ◆ 学生時代はルーチン作業が多く、苦手なことを回避しやすい環境だったため個々のスキルなどでカバーできた
- ◆ 社会人は臨機応変な対応が求められるため、負荷がかかりやすくメンタルヘルス不調になりやすい
- ◆ 生きにくさ → 抑うつ状態となり精神科受診、初めて「発達障害」と分かる

**個性がポジティブな方向で現れず、
ネガティブな方面で現れる**



発達障害の職場で起こりやすい課題

自閉スペクトラム症

- 新しいことに抵抗を持つ
- 究極のマイペース
- 空気（行間）が読めない
- 口頭の指示に従えない
- 表情が堅い
- 本人なりの行動様式がゆずれない

注意欠如・多動症

- タイムカードを押さない
- 忘れ物が多い
- 集中ができない
- 飽きやすい



極限性学習症

- 文字が読めない、書けない
- 計算ができない
- 文章を考えることができない
- 図が描けない
- できる業務とそうでない業務の差が激しい

私たちができる職場での関わり

障害を理解する

* これはどれも間違い *

- × 発達障害は知的能力が低いから仕事が遅い
- × 発達障害は治すものだし、治るものだ
- × 発達障害は、自閉症、学習障害、ADHDだけのことである
- × 発達障害は能力が欠如しているため、能力の向上は無い
- × 障害者雇用として雇うことがゴールだ

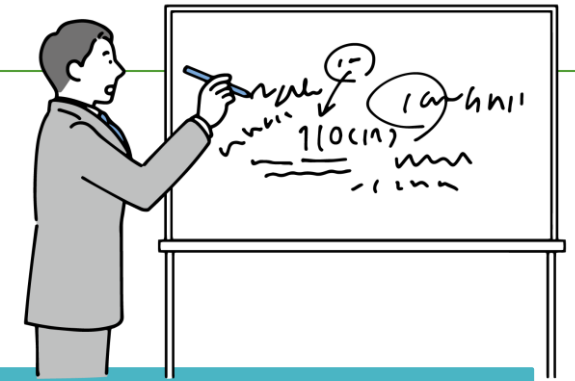
はじめは知らなくて当たり前
徐々に理解を深めていけるよう
心がけることが何よりも大切です



出典:発達障害情報・支援センター:<http://www.rehab.go.jp/ddis/understand/facts/>

私たちができる職場での関わり

欠点として見ていることをメリットとしてとらえ直す



欠点

- 言ったことしかできない
- 落ち着きが無い
- 一つのことに集中しすぎる

メリット

- 指南書があれば細部まで確実な作業ができる
- 様々なことに興味を持ち、環境の変化に順応できる
- 人には真似ができないような集中力を見せ、作業に没頭することができる